

[報告]

SGH DR3による多賀城高等学校との交流プログラム・第2回Zoom-Zoom会議※

## 1 テーマ

「震災(Disaster)・復興(Reconstruction)・減災(Reduction)・レジリエンス(Resilience)の担い手となる」

## 2 目的

被災地域との学校交流を通して、大規模震災に対するリスクマネジメントについて多角的な視点から学ぶ。

- ① 身近な地域に起こった、あるいは今後起こるであろう地域災害について学ぶ。
- ② 人文科学・自然科学の両面から震災を捉え、地域の課題について考える。
- ③ どのような減災・防災教育を行えるか考える。
- ④ 上記活動を通して、他を思いやることのできる生徒を目指す。

## 3 Zoom-Zoom会議の内容 進行：本校DR3

○ アイスブレイキング

### ① 各校研究活動の進捗状況

- ・多賀城高等学校より研究協力や情報提供の打診  
→避難所運営のあり方、避難所生活での二次被害、復興住宅
- ・神戸大学附属中等教育学校のグループ別研究テーマの説明

A 地域コミュニティ、B 災害ボランティアとNPO、C 校内防災・減災学習プログラム

### ② 質疑応答

- ・宮城の地域コミュニティの状況
- ・学校で実施している避難訓練の目的や回数、実施方法
- ・防災学習における生徒の取り組みと一般生徒の意識

### ③ その他【確認】

- ・質問・依頼事項は事前に伝えて、会議までに回答を準備しておく。
- ・LINEグループは代表者同士に三役と各研究グループ代表を追加する。



## 4 本校生徒の感想

- ・今回のZoom会議は非常に有意義なものであった。私は本校で1月に行われる防災・減災教育の内容を決める役割であるが、参考とするために多賀城高等学校での防災・減災教育について質問をした。生徒会では防災図上訓練を実施し、地図上の場所で災害が起こったらどこに避難するかシュミレーションするゲームを行っていて、今まで聞いたことがなくとても参考になった。他にもメモリアルデイ、1年生での災害に関する課題研究など様々な活動について知ることができた。これらを参考にして本校のプログラムを考えていきたい。

○ 次回Zoom会議予定 11月2日（金）16時、進行は多賀城高等学校